

① 概 要

平行部直径が0.5mmφの微小試験片（全長約8mm）を用いた高サイクルおよび低サイクル疲労試験が可能になりました。

② 主な仕様

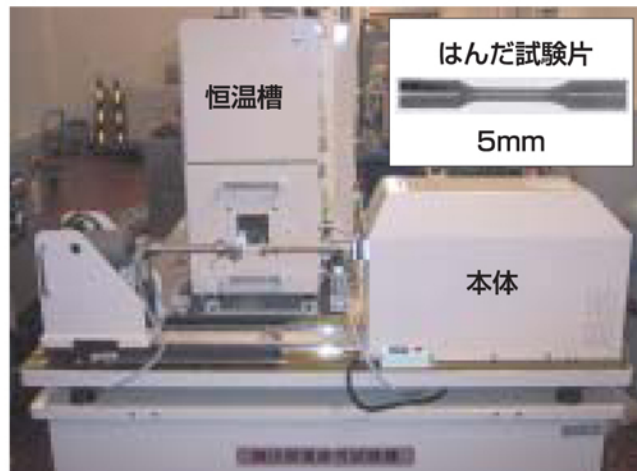
- (1) 荷重容量 : ±200N (動的±170N)
- (2) アクチュエータ変位 : ±20mm
- (3) 微小変位 : ±0.5mm (分解能±0.1 μm)
- (4) 温度 : -65~200℃

③ 特 徴

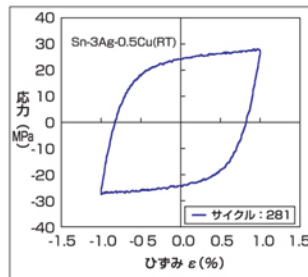
- (1) リニアサーボ方式の駆動装置であるため、高精度な微小変位制御が可能になりました。
- (2) 渦電流式変位計を使用することにより-65~200℃恒温槽環境中で平行部間変位を求められ、引張試験での応力-歪線図や低サイクル疲労試験中の繰返し応力-歪線図を計測できます。

④ 利用分野

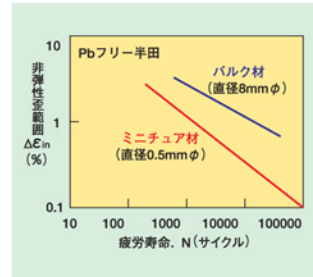
- (1) 半田などの低融点金属材料から一般金属の引張試験、低サイクル疲労試験
- (2) 薄膜（0.3mm程度以下）のスモールパンチ破壊試験および同疲労試験



微小荷重疲労試験機



半田のヒステリシスループ



半田の低サイクル疲労寿命